

ため池ハザードマップ 寺迫上、寺迫下溜池

ため池ハザードマップの注意点

浸水想定区域は、一定の条件により想定していますので、地図に示した区域外に浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

浸水想定区域外だからといって安心することはできません。

ため池による災害の恐れがあるとわかった場合には、速やかに避難することが大切です。

ため池決壊について知ろう

ため池決壊の原因（地震と大雨）

地震



ため池周辺では、地震が発生した場合にため池決壊が予測されています。

大雨



近年、短時間に激しく降る大雨（ゲリラ豪雨）が日本各地で増加しています。台風や梅雨時期に雨が降り続けると、ため池の水位が上昇し、ため池決壊のおそれがあります。

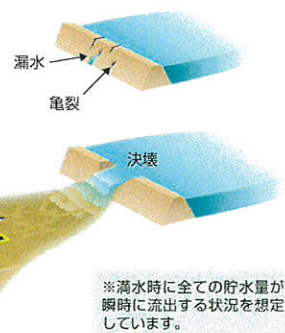
ため池決壊の起こり方と、その被害

①南海地震や直下型地震、大雨で堤防が破損する。

②破損した堤防が、貯水に耐え切れず「決壊」

③ため池決壊による被害

- ・大量の水や土砂が濁流となって、瞬時に押し寄せます。
- ・山津波、内陸部における津波とも呼ばれています。
- ・建物や車は押し流されます。
- ・道路や住宅地、田畑は土砂に埋まります。



※満水時に全ての貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。

避難時の心得

- ため池が決壊する恐れのあるときは、がけ地や川沿い、ため池の下流は避けてまず高い場所に一次避難する。
- 安全を確認したあと公民館に二次避難する。
ただし、津波浸水の恐れがある場合は、この限りではない。
- 近所と声をかけあい、家族やグループで行動する。
- スリッパやサンダル、長靴は危険であるためできるだけ運動靴で避難する。

	ため池
	洪水到達時間
	津波浸水危険予想範囲

浸水時に想定される水深

	5.0m以上の区域
	3.0m～5.0mの区域
	2.0m～3.0mの区域
	1.0m～2.0mの区域
	0.5m～1.0mの区域
	0.2m～0.5mの区域

決壊後0秒～180秒
決壊後180秒～240秒
決壊後240秒～300秒
決壊後300秒～360秒

1:2,500
0m 100m 200m

問い合わせ先
日向市役所 Tel.0982-52-2111 (代)

23.6